

「第2回ぐんまの伝統芸能アンケート調査」実施要項

1. 趣旨

伝統芸能は、住民を繋ぐ交流の場として生活と密接に関わり合いながら、伝承されてきたその地域の貴重な文化であり、地域の宝物です。県内には数多くの伝統芸能が伝承されていますが、生活習慣の変化や少子高齢化による人手不足などから、危機的な状況にある団体も少なくありません。また人から人へ伝承されるものであるため、新型コロナウイルス感染症が与えた影響は極めて深刻です。

当事業団では、コロナ禍が県内の伝統芸能団体に与える影響が深刻であると考え、令和3年度にアンケート調査を実施した結果、「催事が開催できない」「新規参加者がいない」等、多くの伝統芸能団体の活動に支障があることが判明しました。

この様に伝統芸能を継承することにおいて大変厳しい状況にありましたが、令和5年5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類に引き下げられたことから、各伝統芸能団体におかれましても各地でほぼ以前の状態に戻す対応が見られています。

令和5年度はコロナ禍からのリスタートとなる中で、あらためて県内の伝統芸能団体の現状を把握することで、お役に立つ情報の提供や、将来につながる取り組みを支援するため、第2回アンケート調査を実施いたします。

2. 調査実施 公益財団法人群馬県教育文化事業団

3. 協力 群馬県

4. 調査対象 県内の伝統芸能 計384団体

(人形芝居(8団体)、歌舞伎(6団体)、獅子舞(164団体)、神楽(117団体)、山車または屋台が伴う県内の祭り・囃子団体(89団体))

5. 調査方法 調査票の郵送による書面調査。その他、必要に応じて聞き取りを行います。

基礎とするデータは、「ぐんまの伝統芸能アンケート調査」(R3)を使用します。

6. 調査期間 令和5年8月中旬～12月(予定)

7. 主な調査項目 新型コロナウイルス感染症(約3年半)の影響、現在の活動状況、必要とする支援、「群馬のふるさと伝統文化」支援事業補助金など

8. 結果報告

(1) 令和5年12月下旬に群馬県教育文化事業団ホームページにて公開します。

(2) アンケート調査に協力いただいた団体に結果を郵送します。

9. その他

(1) 個人情報の取り扱いには十分配慮いたします。

(2) 「実施要項」及び「ぐんまの伝統芸能アンケート調査」は、群馬県教育文化事業団ホームページにも掲載しておりますので、必要な場合はダウンロードしてご利用ください。

ホームページ <https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp>

→トップページ上部メニュー「各種様式」 → 「第2回ぐんまの伝統芸能アンケート調査票」